

第1回いわての森林づくり県民税事業評価委員会

日 時：平成29年5月9日（火）13：00～15：00

場 所：エスポワールいわて 3階 特別ホール

次 第

1 開 会

2 議 題

- (1) 平成28年度いわての森林づくり推進事業の実績について
- (2) 平成29年度いわての森林づくり推進事業について
- (3) いわて環境の森整備事業の施工地審査について
- (4) 県民参加の森林づくり促進事業の拡充について

3 その他

4 閉 会

いわての森林づくり県民税事業評価委員会委員名簿

(平成28年7月14日現在)

氏名	役職名等	備考
大粒来 宏 美	有限会社丸大県北農林 取締役	
岡 田 秀 二	富士大学 学長	
小山田 四 一	一戸町立図書館 館長	
國 崎 貴 嗣	岩手大学農学部（環境科学系） 准教授	
佐 藤 重 昭	徳清倉庫株式会社 代表取締役	
佐 藤 誠 司	岩手県商工会議所連合会 盛岡事務局長	
安 原 昌 佑	岩手県保護司会 河南分区長	
吉 田 敏 恵	岩手県消費者団体連絡協議会 常任幹事	
吉 野 英 岐	岩手県立大学総合政策学部 学部長	
若 生 和 江	環境アドバイザー	

(五十音順)

1 委員 10名

2 任期 平成28年7月14日～平成30年7月13日

第1回いわての森林づくり県民税事業評価委員会 県関係出席者名簿

役 職 等	氏 名	備 考
農林水産部 林務担当技監	阿 部 義 樹	
林業振興課 総括課長	大 畑 光 宏	
振興担当課長	及 川 明 宏	
主任主査	高 芝 俊 雄	
主任主査	木戸口 佐 織	
主 査	三 上 昭 典	
主 事	山 本 有 美	
森林整備課 技術主幹兼計画担当課長	佐 藤 昭 仁	
主任主査	菊 地 明 子	
主任主査	丸 山 暎	
技 師	村 井 凜太郎	
盛岡広域振興局林務部 主任主査	土 橋 浩	
盛岡広域振興局林務部 主 査	村 上 博 光	
盛岡広域振興局林務部 いわて環境の森整備推進員	小 林 静 夫	
盛岡広域振興局林務部 いわて環境の森整備推進員	藤 田 隆 二	
県南広域振興局林務部 主 査	赤 座 直 輝	
花巻農林振興センター 主任行政専門員	照 井 重 光	
花巻農林振興センター いわて環境の森整備推進員	菊 池 継 彦	
一関農林振興センター 上席林業普及指導員	佐々木 光 治	
岩泉林務出張所 主査林業普及指導員	木 越 聡	
二戸農林振興センター林務室 主 任	高 坂 達 也	
二戸農林振興センター林務室 技 師	及 川 純	

平成 28 年度いわての森林づくり推進事業の実績について

1 事業費の状況

(1) 平成 28 年度いわての森林づくり基金積立金に対する積立金（基金積立）

ア いわての森林づくり県民税（市町村徴収取扱費控除後）

716,944 千円

イ 基金運用益

313 千円

※ 基金運用益は、いわての森林づくり基金積立金を、岩手県資金管理運用方針に基づき会計管理者が他の基金とともに、一元的に資金運用した結果得られた預金利子

(2) 平成 28 年度いわての森林づくり推進事業実績

○ 事業費（基金取崩）

（単位：千円）

事業	当初予算額	決算見込額
ア いわて環境の森整備事業	676,600	388,053
イ 県民参加の森林づくり促進事業	31,985	15,235
ウ いわて森のゼミナール推進事業	4,516	4,516
エ いわての森林づくり普及啓発事業	5,512	5,512
オ 事業評価委員会運営費	1,995	1,995
計	720,608	415,311

○ 事業実績

事業	実績
ア いわて環境の森整備事業	確保面積 772ha (目標面積 1,830ha)
イ 県民参加の森林づくり促進事業	事業実施団体 30団体・延べ5,734名 【うち被災地枠】 1団体・ 15名
ウ いわて森のゼミナール推進事業	森林学習会 23校・572名 森の実践ゼミナール 3地域・51名
エ いわての森林づくり普及啓発事業	地域説明会、TV等CM、PR用品・リーフレット製作
オ 事業評価委員会運営費	7回開催（現場調査1回含む）
カ アンケート調査実施費	調査対象3,500通・回答数1,994通・回収率57.0%

2 いわて環境の森整備事業

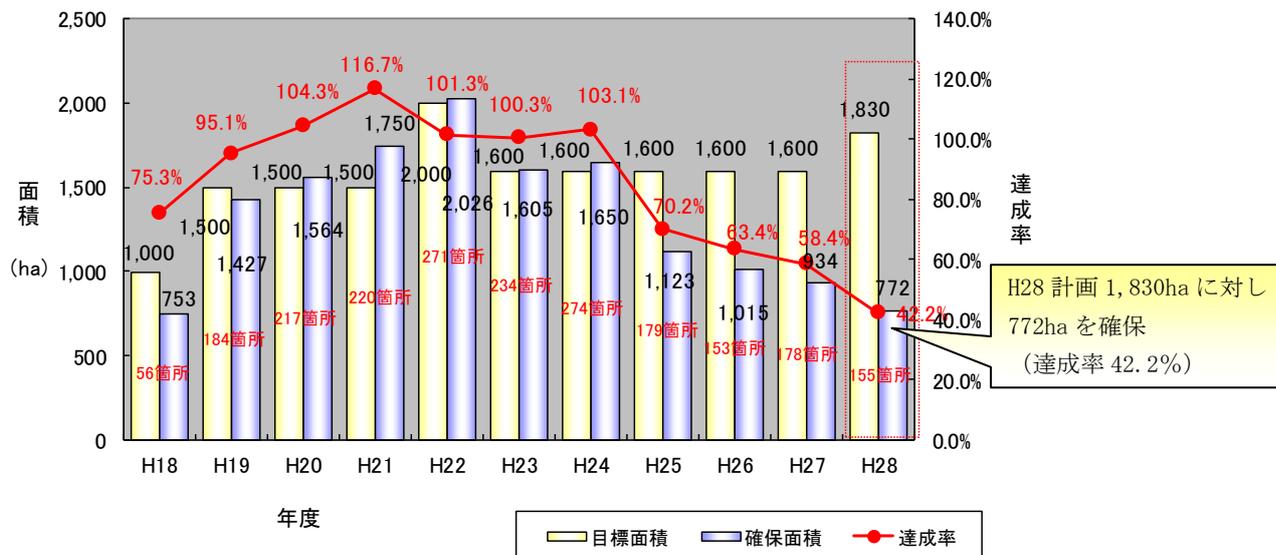
＜取組の成果＞

- 1 平成 28 年度の計画面積 1,830ha に対し、事業対象森林確保面積は 772ha（達成率 42.2%）
- 2 事業開始から県内全域で 14,619ha を確保（全体計画面積 17,000ha、達成率 86.0%）
- 3 森林組合等を主体とする地域提案型事業（補助）が定着（H23 以降のシェア 100%）

(1) 確保面積

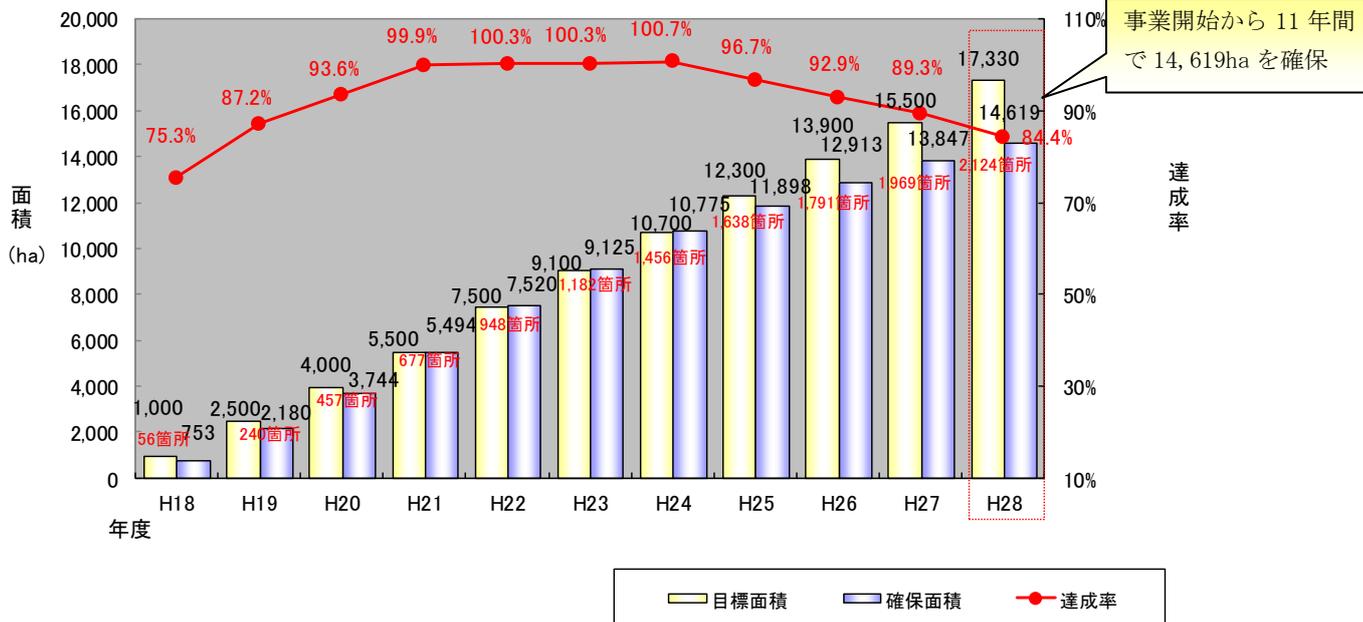
- ア 平成 28 年度計画面積 1,830ha に対し、事業対象森林確保面積は 772ha（達成率 42.2%）
（図 1 参照）
- イ 事業開始から 11 年間で、全体計画面積 14,619ha を確保（図 2 参照）
- ウ 事業対象森林は、県内全域にわたり確保（別添資料参照）

〔図1〕 いわて環境の森整備事業確保面積の推移



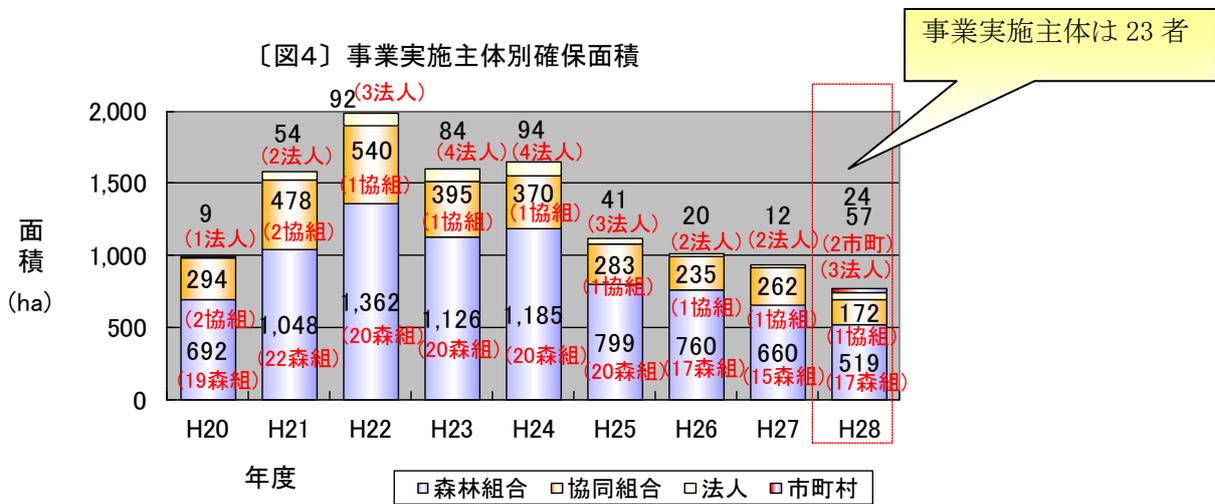
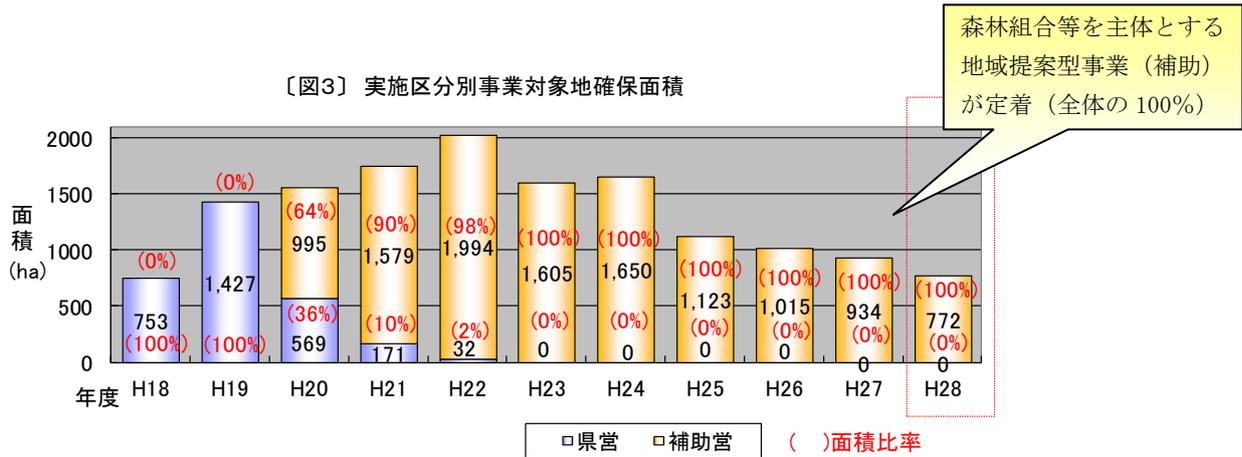
平成 25 年度以降、目標達成率が下降し続け、平成 28 年度の目標達成率が 42.2%であった理由は、三陸縦貫道路の開設や県道の拡幅に伴う森林伐採作業、さらに台風第 10 号からの復旧作業に人材が流出したため。

〔図2〕 いわて環境の森整備事業確保面積の推移(累計)



(2) 事業実施主体等

- ア 森林組合等を主体とする地域提案型事業（補助）が定着（図3参照）
- イ 森林組合等の18事業体により事業実施（図4参照）



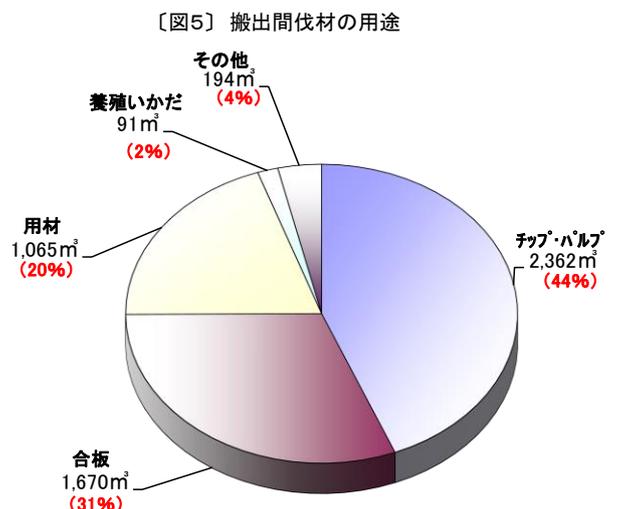
(3) 間伐材有効利用モデル

平成23から24年度まで実施した間伐材を有効利用するモデル的な取組みについて

- ア 間伐材を有効利用するモデル的な取組みを14箇所で開催し、5,382 m³の間伐材を搬出利用〔表1〕 ※25,26年度の実施箇所はなし
- イ 用途は、チップ・パルプ44%、合板31%、用材20%、養殖いかだ2%、その他4%〔図5〕

〔表1〕 間伐材有効利用モデル実施状況

年度	H23年度	H24年度	計
箇所数(箇所)	10	4	14
整備面積(ha)	113.80	18.44	132.24
搬出面積(ha)	55.21	18.44	73.65
立木材積(m ³)	22,154	10,628	32,782
伐採材積(m ³)	9,326	4,491	13,817
利用材積(m ³)	4,771	1,624	6,395
利用率(%)	51	36	46
搬出実績(m ³)	3,904	1,478	5,382



3 県民参加の森林づくり促進事業

《平成 28 年度取組実績》

- 1 企画募集は第 1 次及び第 2 次と 2 回実施し、応募 32 団体全てを採択したが、台風 10 号被害の影響等で 2 団体が事業を中止した結果、活動団体は 30 団体となった。
- 2 各活動への参加者は、延べ 5,734 人となった。
- 3 活動団体を活動区分ごとに分類すると、森林整備が 8 団体、人材育成が 3 団体、森林学習が 18 団体、被災地枠が 1 団体、計 30 団体となった。

(1) 企画募集状況

募集区分	募 集 期 間	応 募	採 択	実 施	審 査
第 1 次	H26. 2. 15～3. 15	21	21	21	H27 年度 第 6 回評価委員会 (3/30)
第 2 次	H28. 4. 28～5. 27	11	11	9	H28 年度 第 1 回評価委員会 (6/17)
計		32	32	30	

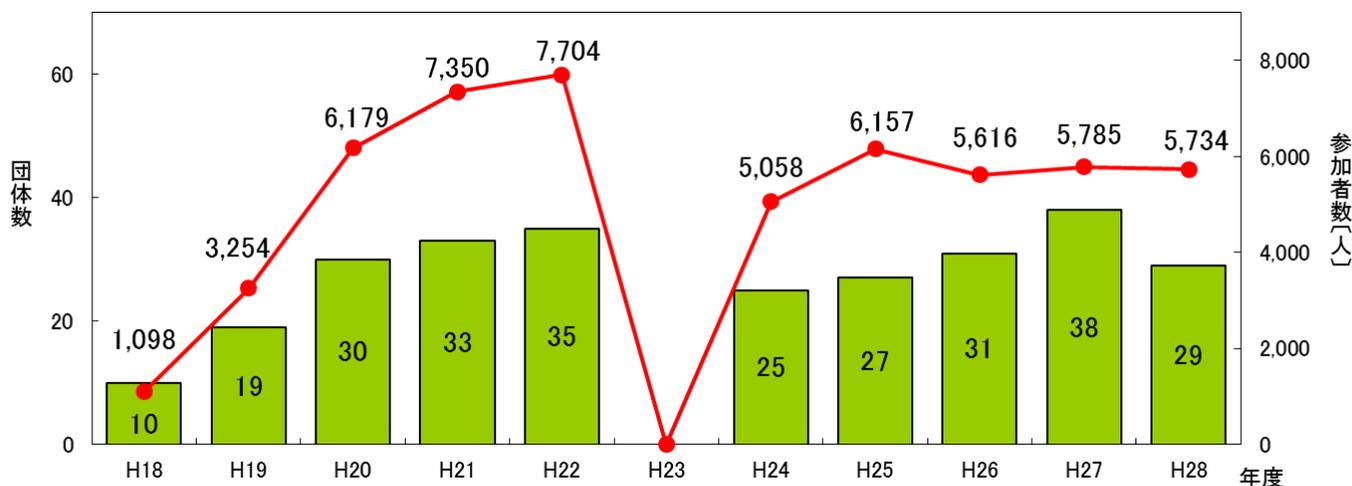
(2) 活動団体数

採択団体数は、制度導入以降、増加傾向にあったが、東日本大震災津波の影響で落ち込んだものの、再び増加傾向となったが、平成 28 年度は前年度を下回った。

(3) 参加者数

参加者数は、活動団体数と同様の傾向を示しているが、近年は横ばいの状況である。平成 28 年度は、活動団体数が大きく減少したものの、参加者数は微減となった。

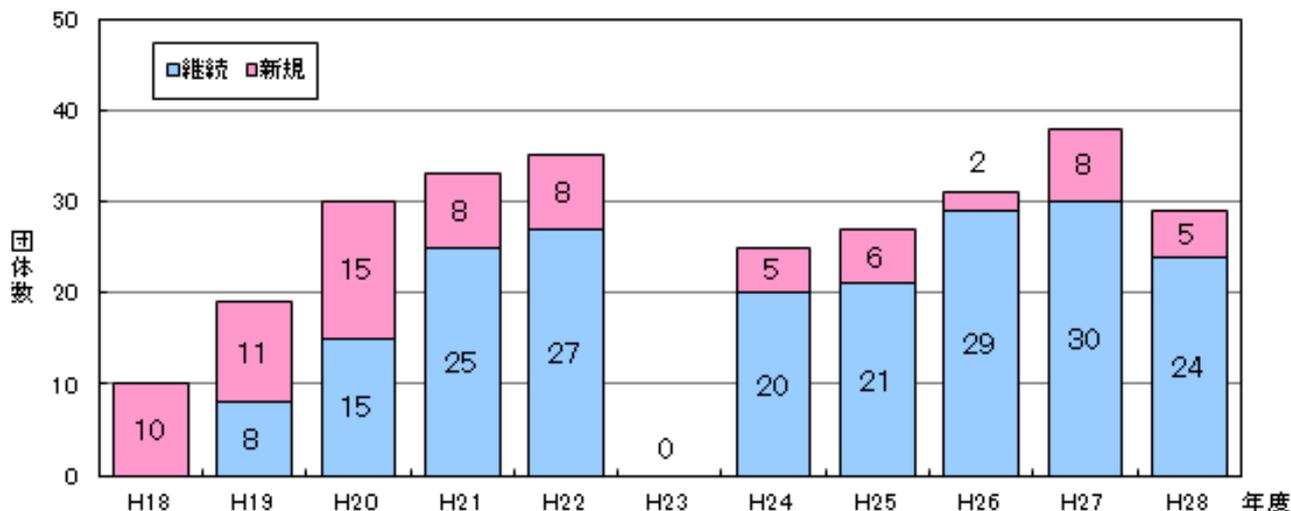
【表 1】活動団体数、参加者数等の推移（被災地枠除く）



(4) 新規・継続団体の推移

平成 28 年度の活動団体、通常枠 29 団体のうち、新規団体は 5 団体、継続団体は 24 団体であった。

【表 2】通常枠採択団体の継続・新規の別（被災地枠除く）



(5) 活動団体の活動区分

制度導入時から実施した間伐等による森林をつくる活動に加え、平成 20 年度からは森林環境学習活動などの、森林を学び活かす活動を補助対象活動に加えた。

さらに、平成 24 年度からは、被災地枠を新設するなど、多様な活動を支援している。

なお、平成 28 年度通常枠での森林整備活動団体は 8 団体、人材育成活動団体は 3 団体、森林学習活動団体は 18 団体であった。

【表 3】活動区分別団体数

区 分	森林をつくる活動		担い手 育成活動	森林を学び 活かす活動	森林資源を 活かす活動	計	被災地枠	合計
	森林整備 活動	森林所有者 啓発						
平成18年度	10					10		10
19	19					19		19
20	25	1		4		30		30
21	20		1	11	1	33		33
22	16		1	17	1	35		35
23								
24	10		1	13	1	25	4	29
25	7	1	1	17	1	27	8	35
26	8	1	2	20		31	5	36
27	7	1	4	26		38	3	41
28	8		3	18		29	1	30
累計	130	4	13	126	4	277	21	298

4 いわて森のゼミナール推進事業

【取組の状況】

県民の方々に広く森林・林業の普及啓発を図るため、

- 1 小学校 23 校、計 572 名の児童・生徒を対象に、森林インストラクター等の指導者による森林学習会を実施。
- 2 一般県民を対象に、地域住民の自主的な森林づくり活動（森林環境学習地域プラン策定）の取組支援や指導者研修会を実施。

【今後の対応】

- 1 広く県民を対象とした森林・林業学習の機会を継続して提供し、森林・林業に対する理解の醸成を促進。
- 2 地域住民の主体的な取組が県内各地で活発に行われるよう、指導者の育成や活動プラン策定等の支援を継続して実施。

(1) 森林学習会 [23 校で開催、計 572 名参加]

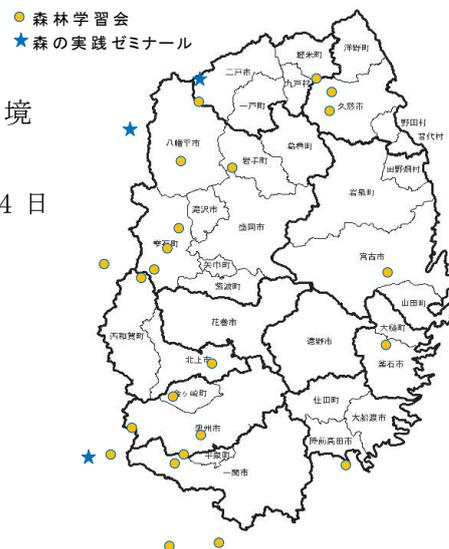
県内の教育事務所を通じて募集した小学校において、森林インストラクター等による樹木観察などの森林環境学習を実施。

- ① 開催期間：平成 28 年 6 月 15 日～平成 29 年 2 月 14 日
- ② 開催場所：県内の小学校

(2) 森の実践ゼミナール

[指導者研修会 2 回、3 地域でプラン策定]

地域住民の自主的な森林づくり活動などの取組が県内各地で活発に行われるよう、指導者研修会を実施し、森林環境学習地域プランを策定するなど活動を支援。



< 指導者研修会 >

開催日・開催場所	研修内容
平成 28 年 10 月 1 日 あらえびす記念館	・ 森林環境学習活動事例紹介、意見交換会 ・ 県民参加の森林づくり促進事業の現場視察
平成 29 年 1 月 14 日 アイーナ	・ 各団体活動発表 ・ 意見交換会

< 活動支援の内容 >

以下の 3 地域の団体に対し、活動の体制づくり、具体的な活動内容の検討を行い、森林環境学習地域プランを策定。

- ① 五日市里山を考える会 [八幡平市] 森づくりの担い手育成・里山づくり・森の遊び場
- ② とっこの森 [二戸市] 自然体験イベントの開催・森林の整備
- ③ 奥州・いわて NPO ネット [奥州市] 森林の整備・環境学習や自然観察会のコース作り

5 いわたの森林づくり普及啓発

《平成 28 年度取組実績》

- 1 マスメディア広報等

広告代理店に委託し、テレビ CM を 100 本、ラジオ CM を 60 本、新聞広告等を実施した。（委託期間：平成 29 年 1 月 25 日～3 月 29 日）
- 2 市町村広報紙への記事掲載依頼

森林所有者向けに、環境の森整備事業による間伐を呼びかける記事の掲載を依頼。7 市町から協力が得られ、所有者からの制度等への問合せあり。
- 3 広報物品製作
 - (1) 横断幕（環境の森事業施工地への掲示による P R）
 - (2) のぼり旗（県民参加事業活動団体が活動時に P R）
- 4 リーフレット製作

小学校高学年児童用のリーフレットを製作し、県内全小学校へ配布。
- 5 インターネットアンケート

広告代理店に委託し、認知度把握を目的としたインターネットによるアンケート調査を実施。認知度は 37.5%であった。（県民税認知 212 人／565 人）

【岩手日報社会面記事下広告：平成 29 年 2 月 28 日掲載】

市町村	電話番号
岩手県庁	019-629-6612
奥州市	0197-22-2871
盛岡市	0197-22-4031
北上市	0199-82-9933
花巻市	0191-26-1433
山形市	0193-25-2704
秋田県	0193-64-2215
青森県	0194-22-3113
岩手県	0192-27-9974
秋田県	0194-53-4504
岩手県	0195-23-6204
岩手県	019-629-5776

【環境の森施工地への横断幕設置】



【児童用リーフレットキャラクター】



いわての森林づくり県民アンケート集計結果(インターネットアンケート)



1 実施期間:平成29年2月1日～2月28日

2 回答者数:565人 (男性269人・女性296人)

3 認知度:37.5% (565人中、212人が「知っている」、「制度があることは知っている」と回答)

【参考】前回認知度(平成27年8月実施)

(県民):35.3%(回答者1,119人中、395人が「知っている」、「制度があることは知っている」と回答)

男女別

設問	男	女	計
そのような制度があることは知らなかった	136	214	350
税額は知らなかったが、 制度があることは知っていた	68	46	114
知っている	63	35	98
未回答	2	1	3
	269	296	565

61.9%
20.2%
17.3%
0.5% } **認知度37.5%**

年代別

設問	10代	20～30代	40～50代	60代以上	計
そのような制度があることは知らなかった	9	168	148	25	350
税額は知らなかったが、 制度があることは知っていた	4	39	58	13	114
知っている	0	30	55	13	98
未回答	0	2	1	0	3
	13	239	262	51	565

男性・年代別

設問	10代	20～30代	40～50代	60代以上	計
そのような制度があることは知らなかった	7	68	51	10	136
税額は知らなかったが、 制度があることは知っていた	2	21	36	9	68
知っている	0	16	37	10	63
未回答	0	1	1	0	2
	9	106	125	29	269

女性・年代別

設問	10代	20～30代	40～50代	60代以上	計
そのような制度があることは知らなかった	2	100	97	15	214
税額は知らなかったが、 制度があることは知っていた	2	18	22	4	46
知っている	0	14	18	3	35
未回答	0	1	0	0	1
	4	133	137	22	296

平成 29 年度いわての森林づくり推進事業について

いわての森林づくり県民税収額 761,000 千円
(個人：1,000 円、法人：2,000 円～80,000 円)



基金積立金
729,536 千円

1 事業費

(単位：千円)

区 分	H28 当初予算 A	H29 当初予算 B	差引 B-A
(1) いわて環境の森整備事業	676,600	682,559	5,959
(2) 県民参加の森林づくり促進事業	31,985	31,887	△98
(3) いわて森のゼミナール推進事業	4,516	4,516	0
(4) いわての森林づくり普及啓発事業	5,512	5,496	△16
(5) 事業評価委員会運営	1,995	1,915	△80
合 計	720,608	726,373	5,765
いわての森林づくり基金積立金	709,201	729,536	20,335

2 事業内容

事業内容	事業量
(1) いわて環境の森整備事業	
公益上重要で緊急に整備が必要な人工林について混交誘導伐を実施 併せて、間伐材有効利用の取組を実施	混交林誘導伐 1,500ha (うち、間伐材有効利用 10 箇所) 松くい虫感染源クリーンアップ 40 箇所
公益的機能が高い高齢のナラ林を被害を受けない若い森林への更新を支援	ナラ類等広葉樹の伐採 8,000 m ³
主要道路及び公共施設等の周辺で、倒木被害の予防、景観保全等を図るため、アカマツ枯損木等を伐採し、広葉樹林への天然更新を支援	アカマツ伐採、集積 1,000 m ³
森林への移行が困難な箇所の環境を保全する植栽活動について支援	植栽 5 ha
(2) 県民参加の森林づくり促進事業	
地域住民や NPO などが取り組む、森林整備活動や森林ボランティア育成などの森林づくり活動や、森林環境学習や県産材活用による森を学び活かす活動を支援 このうち、被災地枠として、市町村やボランティア団体などが、被災地域の住民と協働して、森林整備活動や森林資源活用の取組を支援	事業実施 31 団体 (H29, 4 時点) 参加目標人数 7,000 人
(3) いわて森のゼミナール推進事業	
児童生徒をはじめ、広く県民を対象に、森林・林業を学習する機会を提供	森林学習会 (実践指導) 23 校 森の実践ゼミナール (地域活動支援) 3 地区
(4) いわての森林づくり普及啓発事業	
森林・林業の役割や重要性、県民税の趣旨や取組内容・効果等について、県民に対し情報発信	テレビ・ラジオ CM、新聞広告等
(5) 事業評価委員会運営	
いわての森林づくり推進事業の審査や評価、検証を行う事業評価委員会を開催	事業評価委員会 7 回開催

平成 29 年度いわて環境の森整備事業 施工地選定審査基準(審査)

いわて環境の森整備事業の施工地選定審査に当たっては、下表に掲げる基準を満たしているものを適とする。

審査項目		審査基準
森 林 に 関 す る 事 項	事業対象森林	① 私有林であること。
		② 人工林であること。
		③ 公益林であること。 ア 水源地域等の上流域の森林 イ 野生動植物生育の場として重要な森林 ウ 自然林に戻すことによって、景観的な多様性の維持・向上を図るべき森林 エ 上記に準ずる森林
		④ 保安林である場合は、治山事業等で実施することが困難であること。
採択基準	⑤ 対象樹種は、原則として人工林であるスギ、カラマツ、アカマツ等の針葉樹であること。 ただし、アカマツ天然生林においても、地域において保全上重要な森林については、対象とするものとする。	
	⑥ 対象齢級は、原則として 4 から 10 齢級であること。 ただし、3 齢級以下及び 11 齢級以上であっても、地域において保全上重要な森林で、本事業の計画に加えるべき森林については、対象齢級として取扱うものであること。	
	⑦ 1 施工地の面積は、0.3 ヘクタール以上であって、原則として 1 ヘクタール以上の団地であること。 ただし、団地の考え方（団地性の判断）については、各施工地の相互の間隔が概ね 10 キロメートル以内の範囲であるものとする。（概ね半径 10 キロメートルの円内にすべての施工地が含まれること。）	
森林所有者に関する事項	⑧ 協定書の締結に同意していること。 (現時点では口頭による確認)	

平成29年度いわて環境の森整備事業施工予定地一覧表(補助)

連番	受付番号		市町村	大字	字	樹種	面積 (ha)	林齢 (年生)	申請者	特記事項
001	17	001	盛岡市	下田	生出 地内	スギ	1.33	33～43	盛岡広域森林組合	
002	17	002	紫波町	佐比内	砥ヶ崎 地内	スギ	2.00	48	有限会社 二和木材	
003	17	003	奥州市	水沢区黒石町	鶉ノ木新田ほか 地内	スギ、ヒノキ	3.20	23～47	奥州地方森林組合	
004	17	004	奥州市	江刺区伊手	芦沢ほか 地内	スギ	6.21	34～50	奥州地方森林組合	
005	17	005	奥州市	衣川区	外の沢ほか 地内	スギ	4.00	27～50	奥州地方森林組合	
006	17	006	奥州市	衣川区	小田ほか 地内	スギ	2.15	35～50	岩手県森林整備協同組合	
007	17	007	花巻市	東和町	谷内5区ほか 地内	スギ	2.60	21～48	クイック株式会社	
008	17	008	西和賀町	沢内	前郷 地内	スギ	3.76	28～44	西和賀町森林組合	
009	17	009	遠野市	附馬牛町	下附馬牛 地内	スギ	3.60	24,35	遠野地方森林組合	
010	17	010	宮古市	田老	青倉ほか 地内	スギ、アカマツ	2.40	20～37	宮古地方森林組合	
011	17	011	宮古市	八木沢	第9地割 地内	スギ、アカマツ	4.87	40～47	宮古地方森林組合	
012	17	012	宮古市	田代	第6地割 地内	スギ、アカマツ	3.92	24～50	宮古地方森林組合	
013	17	013	山田町	船越	第23地割ほか 地内	スギ、アカマツ	6.40	45～49	岩手県森林整備協同組合	
014	17	014	一戸町	小友	山井ほか 地内	スギ	1.43	16,17	二戸地方森林組合	
a	今回計		14施工地				47.87			
b	平成29年度既承認面積						0			
c	a + b						47.87			

県民参加の森林づくり促進事業の拡充について

要旨

- 1 本事業は、いわての森林づくり県民税を財源として、平成 18 年度から地域住民等による主体的な森林づくり活動や理解醸成活動等を支援してきた。
- 2 その後、国では、里山林整備の支援として平成 25 年度から森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業を実施してきた。
- 3 今年度からこの交付金事業を、本事業の一部に位置付けて、県民参加による森林整備の推進を図っていききたい。

1 森林・山村多面的機能発揮対策事業の概要

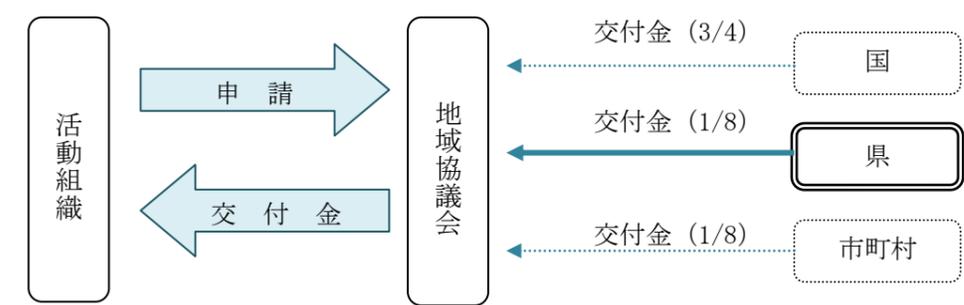
(1) 事業内容

- ①地域環境保全
 - ・雑草木の刈払、除間伐等
- ②森林資源利用
 - ・里山林整備で発生する未利用資源をしいたけ原木、薪炭材として利用



(2) 事業のスキーム

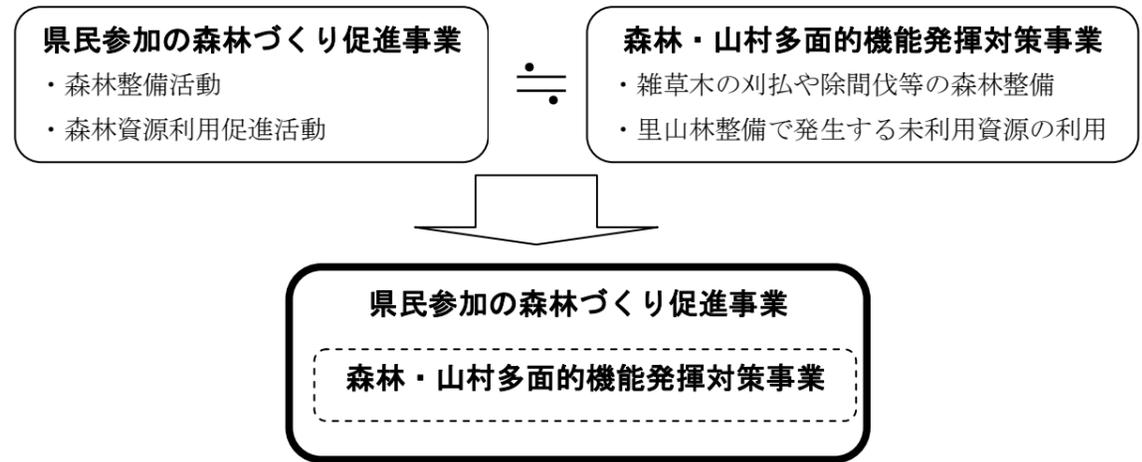
- ・国と地方の割合は国 3/4 : 県 1/8 : 市町村 1/8
- ・国の交付金、県の交付金、市町村の交付金（有無は市町村による）は、事業主体である地域協議会を通じて各活動組織へ交付される。



【参考】

年度	主な活動内容の実績		活動団体数	交付金額
	地域環境保全	森林資源利用		
H25	52ha	87ha	32	44,914 千円
H26	719ha	257ha	86	196,416 千円
H27	777ha	266ha	95	189,206 千円
H28 (見込)	836ha	274ha	99	197,700 千円
計	2,384ha	884ha	—	628,236 千円

2 県民参加の森林づくり促進事業への取込み



3 事業評価委員会との関係

